

令和2年度指定管理者評価結果

評価対象期間	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	施設所管課	生涯学習課
施設名	夢広場はるひ（清須市立図書館・清須市はるひ美術館・はるひ夢の森公園）		
指定管理者	TRC・名古屋三越グループ共同事業体		
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日		

評価結果

評価項目	評価結果	評価、改善すべき点等
1. 施設サービスの 実施体制	A	人員体制、利用料金の取り扱い、記録管理、個人情報保護などについて適正に行われている。また、防災訓練を年2回行い、通報訓練、消火訓練、AEDの使い方などを通して、職員の防災教育に努めた。
2. 市民サービスの 内容や水準	A	利用者対応やホームページの更新などは適切に行われており、図書館では、選書のセンスなどについてお褒めの言葉をいただいている。 また、図書館では、市が応援しているバレーボールチーム（豊田合成）の周知について、市の協力依頼に応じて迅速に対応し、パネルや関連グッズなどの展示を行った。 美術館では、特別展が大変好評で多くのお客様が来館されたが、職員を増員して、駐車場が一時的に満車になった際には丁寧な案内を行い、また、入館を待つお客様を誘導するなど、適切な対応を行った。
3. 施設の収入支出 の状況	A	図書館及び公園の収支は、ほぼ予算の通りであったが、美術館では特別展の影響で観覧料や物販の収入が伸びたことにより、収入が支出を上回った。
総合評価	A	図書館、美術館、公園とも、施設の管理を適切に行い、来館者にとって快適な施設運営に努めた。 図書館は、新型コロナウイルスの影響による臨時休館などで、入館者数は減少したものの、貸出点数は前年度と比べて遜色はなかった。 コロナ禍の中で、感染対策を講じることで来館者の安全を守りながら、おすすめ本セットの貸出しのほか、各種事業を積極的に行った。 美術館は、特別展が好評で、年間の入館者数の半分以上を占めた結果となっている。新型コロナウイルスの影響による臨時休館中に、ホームページで、自宅でできるワークショップを紹介するなど工夫に努めた。 図書館ではお盆期間中の休館予定日を臨時開館し、美術館では展示作品の入替作業に伴う休館を少なくするなど、開館日を少しでも増やすことに努めたことは評価ができる。

S = 優良、A = 良好、B = 課題含、C = 要改善

参考統計

○図書館関係

（各年度3月末現在）

	年度	入館者数	貸出人数	貸出冊数
図書館	30	194,403 人	56,522 人	271,371 冊
	1	180,434 人	54,135 人	263,904 冊
	2	98,279 人	47,880 人	250,986 冊

○美術館関係

	年度	入館者数	開館日数	観覧料等収入額
美術館	30	10,902 人 (うち特別展 3,222 人)	227 日	1,359,690 円 (うち特別展 1,221,350 円)
	1	10,767 人 (うち特別展 3,114 人)	248 日	2,261,420 円 (うち特別展 916,200 円)
	2	23,378 人 (うち特別展 17,272 人)	216 日	9,933,580 円 (うち特別展 9,144,350 円)
公園	30	—	—	590,400 円
	1	—	—	909,820 円
	2	—	—	579,830 円